

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

障害者相談員活動強化研修会が開かれる。差別解消に向けた相談の現状は？



7月5日(木)～(金) 魚津市の金太郎温泉にて、第22回障害者相談員活動強化研修会が開かれました。富山県と富山県身体障害者団体協議会(県障害者社会参加推進センター)が主催するものです。本会からは4名参加しました。

5日は、日本身体障害者団体連合会の会長、阿部一彦氏が「障害者施策にとどまらず地域共生社会の実現に向けた障害特性の理解」と題して講演されました。国連・障害者権利条約締結による法制度の改革によって障害者差別解消法が制定されたこと、障害の社会モデルの考え方への転換やバリアフリーの取り組み。東京オリンピック・パラリンピックに備え、地域共生社会の実現に向けたユニバーサルデザイン2020行動計画の紹介、心のバリアフリーに向けて障害特性の理解、研修の取り組みが必要であること。地方分権化における地域の誰もが暮らしやすいまちづくり等のお話を頂きました。

6日は、県厚生部障害福祉課の広域相談員である土田敦子氏から、「相談員の役割と相談活動状況について」説明頂きました。平成28年度の相談件数は159件でしたが、29年度は118件に減っているとのこと。29年度118件のうち、差別を受けたことの相談が12件、合理的配慮が提供されないことの相談が13件、その他の相談が93件とのこと。地域相談員は、研修を受けた民生委員の方も加わって1,000名を超える人に委嘱されています。相談は面接、文書、ファックス、メールどれでも対応されています。障害当事者からは「伝える」こと、障害のない人は「知る」ことが大切と強調されていました。

差別を受けたのではないかと、合理的配慮の提供をしてもらえなかったなど、どんな小さなことでも良いので、地域相談員、広域相談員に話してみてください。

熱中症に注意しましょう。

猛暑が続いています。熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足を感じる力が低くなっているため、子どもとともに特に注意が必要です。室内では扇風機やエアコンを使う、外出のときは日傘や帽子を。のどが渇いていないと思っても、こまめに水を飲みましょう。

補聴器を汗から守ろう

汗のために補聴器が故障することがあります。汗に濡れたままにしないよう注意しましょう。汗カバーを付ける、乾燥剤入りのケースに保管。乾燥器を利用する等の対策を

センター利用の実績 6月21日～7月20日

- 来所者合計約 5 3 5 名
聴障者約 2 3 3 名、健聴者約 3 0 2 名
- コミュニケーション支援 1 1 2 件
- ライブラリー貸出 1 件 3 本
- 相談対応 2 件 ●部屋貸出 4 6 件

★センター運営募金・募集★
郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会
よろしくお願ひします。